

岩見沢市立総合病院経営計画【概要版】

基本理念

- ・南空知地区における中核病院として、患者の皆様へ良質な医療の提供
- ・患者の皆様との相互信頼関係の構築

基本方針

- 1 人権の尊重と質の高い医療の提供
- 2 他の医療機関、福祉施設との連携による充実した地域医療の実現
- 3 診療体制の充実・発展による高度な医療の実践
- 4 教育・研修病院として、後進の指導や病院全体の医療のレベルアップ
- 5 健全な病院経営を基盤とした高度な医療機器の購入及び医師確保並びに職場環境の整

I はじめ

■ 計画策定の趣旨

少子高齢化、地域の人口減少、医療技術の高度化・専門化、医師確保、消費税率の引き上げ等地方の自治体病院を取巻く環境が依然として厳しい状況が続いている中、医師確保や必要な医療機能の整備、さらなる経営の改善と良質な医療の提供サービスの向上を図ります。

■ 計画期間

平成26年度から30年度までの5年間

II 市立総合病院の状況

■ 公立病院としての役割

南空知地域保健医療圏域内（4市5町）において、救急医療、小児医療及び高度医療などに対応可能な地域センター病院として、圏域内の中核的な役割を担っているほか、災害拠点病院、地域周産期母子医療センターにも指定されており、南空知圏域から多くの患者を受け入れています。

■ 経営状況

平成6年度から19年連続黒字経営

III 経営計画

■ 今後の方向性

地域で完結する医療供給体制の下で、医師や看護師をはじめ医療従事者の確保等に努め、引き続き「地域医療連携」の強化を図りながら、より専門性の高い良質な医療を提供し、市民の皆様へ信頼と満足をしていただける病院を目指します。

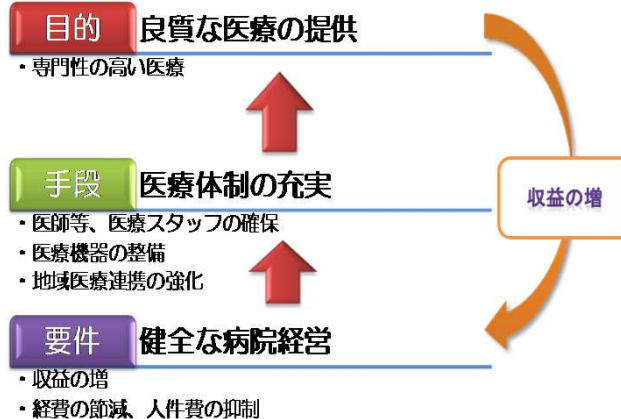
■ 目的達成に向けた具体的な取り組み

(1) 民間的経営手法の導入

- ① 委託業務の見直し

(2) 病院費用の抑制対策

- ① 経費節減
 - ・消耗品費、印刷製本費等経費全般の節減
 - ・医薬品の適正管理及び廉価な価格による購入
- ② 人件費抑制
 - ・業務の効率化による時間外勤務手当の削減



(3) 収入の増加・確保対策

- ① 診療報酬の適切な対応
 - ・診療報酬改定への適切な対応による診療単価の向上
- ② 未収金回収の徹底
 - ・滞納者に対する電話連絡や文書送付等に加え、公的制度の紹介などによる未収金の発生防止の強化

(4) 医療の質の向上

- ① 医療機器の計画的な整備
- ② 人材の確保
 - ・大学医局への医師派遣要請の継続
 - ・医師住宅の整備の検討
 - ・高等看護学院による看護師の養成
 - ・修学資金貸与制度の充実
 - ・認定看護師の積極的な配置
 - ・院内保育園の開設
- ③ 適正な人員配置
 - ・医療の質の向上、労働環境の改善や収益の確保の観点からの適正数の確保
 - ・業務の重点化や合理化の推進による適正配置
- ④ 新医師臨床研修制度
 - ・『内視鏡・腹腔鏡・顕微鏡外科研修センター』の活用による高度な専門性のある医師の養成
- ⑤ 研修体制の充実と職員の意識改革
 - ・研修会、講習会等への積極的な参加によるスキルアップ及び職員の意識改革の実施
- ⑥ 安全で良質な医療サービスの提供
 - ・がん治療や脳血管治療、循環器治療など高度な医療の提供
 - ・救急医療や小児・周産期医療体制などの充実強化
 - ・専門外来の充実
 - ・患者対応、接遇の向上
- ⑦ 診療情報の提供
 - ・インフォームド・コンセントによる患者と医療従事者の信頼関係の構築
 - ・個人情報保護を十分に配慮した診療情報の提供
 - ・医療の透明性と情報の共有化の促進
- ⑧ がん患者の支援（がん相談室等）
 - ・『がん患者サロン』、『がんピアサポート』等の開設など支援事業の充実
- ⑨ セカンドオピニオンへの対応
 - ・セカンドオピニオンへの適切な対応
- ⑩ 後発医薬品（ジェネリック薬品）の採用
 - ・安全性、効果、効能や供給状況等が確認済みのジェネリック医薬品の積極的な採用

(5) その他

- ① IT化の推進
 - ・より質の高い医療及び診療サービスの向上を目指したIT化の推進
 - ・電子カルテの導入を視野入れた整備計画の策定
- ② 地域医療連携の強化
 - ・『かかりつけ医』との機能分担及び円滑な連携の推進
 - ・保健・福祉・介護等との連携により住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援を実施
- ③ 市民健康センターの充実
 - ・関係部署との連携や事業所に対するPRの強化
 - ・検査項目の充実や受診希望者が定期的に受診しやすい環境整備
- ④ ホームページの積極的な活用
 - ・その時々々のトピックに対する対応を素早く公表することで、市民や医療関係機関へのPRのために有効活用を図る
- ⑤ 医療安全管理の取り組み
 - ・全職員にリスク・マネジメントの考え方の徹底
 - ・セーフティマネージャーの設置
 - ・インシデント・アクシデント事例の把握と予防対策等の検討
- ⑥ 災害拠点病院としての機能の充実
 - ・災害対応マニュアルの作成及び災害訓練の実施やDMAT（災害医療派遣チーム）による支援体制の充実
- ⑦ 病院敷地内禁煙の実施
 - ・平成18年4月1日実施の病院施設内全面禁煙に引き続き、病院敷地内全面禁煙を実施（平成26年4月1日実施予定）

■ 収支計画

(単位：百万円)

①収益的収支	見込	計画				
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
収入						
区分別						
医業収益	9,828	10,024	10,066	10,108	10,109	10,109
医業外収益	491	609	608	617	608	612
經常収益(A)	10,319	10,633	10,674	10,725	10,717	10,721
支出						
区分別						
医業費用	9,571	9,941	9,944	9,987	9,956	9,872
医業外費用	511	692	709	730	722	669
經常費用(B)	10,082	10,633	10,653	10,717	10,678	10,541
經常損益(A)-(B)(C)	237	0	21	8	39	180
特別利益(D)	8	0	0	0	0	0
特別損失(E)	5	2,705	9	8	9	9
特別損益(D)-(E)(F)	3	▲2,705	▲9	▲8	▲9	▲9
純損益(C)+(F)	240	▲2,705	12	0	30	171
累積欠損金(G)	▲2,574	129	117	117	87	▲84
資金不足額	▲2,882	▲2,560	▲2,906	▲3,249	▲3,501	▲3,666

(単位：百万円)

②資本的収支	見込	計画				
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
収入						
区分別						
企業債	349	297	414	430	593	447
他会計負担金	0	18	0	0	0	0
国(道)補助金	6	0	0	0	0	0
その他	1		301	1	1	300
収入計(a)	356	315	715	431	594	747
支出						
区分別						
建設改良費	448	353	452	468	630	619
企業債償還金	350	367	403	370	411	483
その他	88	6	306	7	7	307
支出計(b)	886	726	1,161	845	1,048	1,409
差引不足額(B)-(a)(C)	530	411	446	414	454	662
補てん財源(D)	530	411	446	414	454	662
補てん財源不足額(C)-(D)(E)	0	0	0	0	0	0

③一般会計等からの繰入金の見通し

(単位：百万円)

区分	見込	計画				
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
収益的収支	541	638	638	647	638	642
資本的収支	0	0	0	0	0	0
合計	541	638	638	647	638	642